サイン

年　組（　番）名前　　記入日　月　日

記事A

自転車 大人もヘルメット

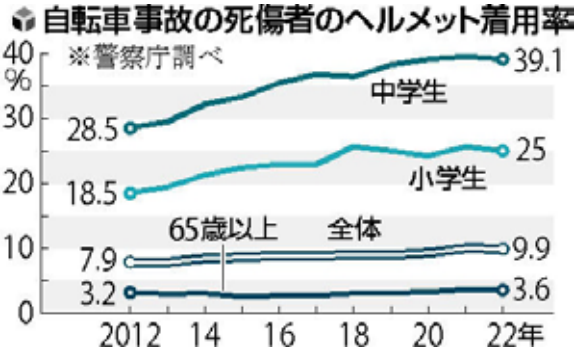
きょうから努力義務

4月1日から、自転車に乗る際、ヘルメットの着用がすべての人の努力義務※となった。これまでも、13歳未満の子供の場合、着用させることが保護者の努力義務だったが、対象を広げた。転倒しても頭を守れば命を守ることができるとして、各地の警察が企業や学校と協力して周知を図る。

警察庁によると、昨年までの5年間に自転車事故で死亡した人は2005人で、うち約56％（1116人）は頭部の損傷が致命傷になっていた。

死傷者のヘルメット着用率は低く、昨年は9・9％。校則などで着用を定めている中学生が39・1％で、小学生は25％。65歳以上はわずか3・6％だった。自転車に乗る際にヘルメットをかぶる習慣が根付いていないためとみられる。

着用はあくまで努力義務で、かぶっていなくても罰則はないが、警察庁は、着用率を高めて重大事故の減少を目指したいとしている。



※努力義務：法律用語で、罰則や強制力はないが、努力をするように求められること。

（2023年4月1日 読売新聞夕刊より）

関連記事B

東京都足立区はヘルメット購入費の補助を始めた。3000円以上のヘルメットを買うと2000円分の補助が受けられる。区は3月の利用数を500人分と見込んでいたが、3倍の1500人を超えた。

関連記事C

岩手県内の自転車用品店は今年に入り、ヘルメット売り場を約2倍に拡大。品ぞろえを充実させた。帽子感覚でかぶれるタイプは普段着にも似合うと好評で、例年の3倍が売れたという。

関連記事D

民間企業が2月に行った調査では、普段自転車を利用する人のうち、ヘルメットを「毎回着用している」が21・2％、「たまに」が13・9％、64・8％が「していない」と回答した。

1 2023年4月1日から新しく、自転車に乗るときヘルメットの着用を求められるようになるのは、だれですか。最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

①65歳以上の高齢者　②小中学生以外　③保護者　④13歳以上の人

2 記事Aは読む人にどのようなことを伝えようとしていますか。最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

① 今後はヘルメット着用率の低い高齢者が気をつけるべきで、小中学生はもう十分だ。
② 着用率が低いのは、これまでヘルメット着用のルールが全くなかったことが原因だ。
③ これまでヘルメットの着用率を上げられなかった警察は、おおいに反省するべきだ。
④ どの年代もヘルメット着用率は高いわけではなく、着用率を上げる努力が必要だ。
⑤ 着用していなかった人たちの死傷率が高いのは、自己責任なので仕方がないことだ。

3 記事Aを読んだ小学生2人は次のような疑問を持ちました。関連記事B～Dのどれを読めば、疑問は解消しますか。一つずつ選び、記号を書きましょう。

太郎君：ぼくは必ずかぶっているけど、ほかの人はどうなのかな。（　　）

花子さん：おしゃれなヘルメットがいいけど、そんなのあるのかな。（　　）

©読売新聞社 2023年　無断複製・転載を禁じます

★ よむ YOMU ワークシート no.2 自転車 大人もヘルメット ＜解答編＞

記事A

自転車 大人もヘルメット

きょうから努力義務

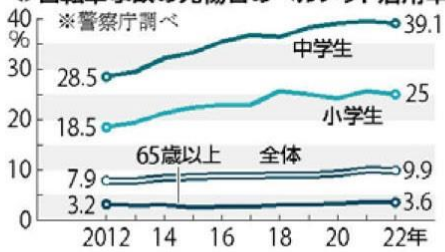
4月1日から、自転車に乗る際、ヘルメットの着用がすべての人の努力義務※となった。これまでも、13歳未満の子供の場合、着用させることが保護者の努力義務だったが、対象を広げた。転倒しても頭を守れば命を守ることができるとして、各地の警察が企業や学校と協力して周知を図る。

警察庁によると、昨年までの5年間に自転車事故で死亡した人は2005人で、うち約56％（1116人）は頭部の損傷が致命傷になっていた。

死傷者のヘルメット着用率は低く、昨年は9・9％。校則などで着用を定めている中学生が39・1％で、小学生は25％。65歳以上はわずか3・6％だった。自転車に乗る際にヘルメットをかぶる習慣が根付いていないためとみられる。

着用はあくまで努力義務で、かぶっていなくても罰則はないが、警察庁は、着用率を高めて重大事故の減少を目指したいとしている。

自転車事故の死傷者のヘルメット着用率



関連記事B

東京都足立区はヘルメット購入費の補助を始めた。3000円以上のヘルメットを買うと2000円分の補助が受けられる。区は3月の利用数を500人分と見込んでいたが、3倍の1500人を超えた。

関連記事C

岩手県内の自転車用品店は今年に入り、ヘルメット売り場を約2倍に拡大。品ぞろえを充実させた。帽子感覚でかぶれるタイプは普段着にも似合うと好評で、例年の3倍が売れたという。

関連記事D

民間企業が2月に行った調査では、普段自転車を利用する人のうち、ヘルメットを「毎回着用している」が21・2％、「たまに」が13・9％、64・8％が「していない」と回答した。

これまで着用するように求められていたのは 13 歳未満の子どもたちですね。「新しく」着用を求められる人は、13 歳以上の人です。

1 2023年4月1日から新しく、自転車に乗るときヘルメットの着用を求められるようになるのは、だれですか。最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

①65歳以上の高齢者　②小中学生以外　③保護者　④13歳以上の人

④

2 記事Aは読む人にどのようなことを伝えようとしていますか。最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

① 今後はヘルメット着用率の低い高齢者が気をつけるべきで、小中学生はもう十分だ。
② 着用率が低いのは、これまでヘルメット着用のルールが全くなかったことが原因だ。
③ これまでヘルメットの着用率を上げられなかった警察は、おおいに反省するべきだ。
④ どの年代もヘルメット着用率は高いわけではなく、着用率を上げる努力が必要だ。
⑤ 着用していなかった人たちの死傷率が高いのは、自己責任なので仕方がないことだ。

④

校則などのルールがあり、一番着用率が高い「中学生」でも 39.1%です。記事は「気をつけなければいけないのは全ての年代」だと伝えています。

D はヘルメットをどれぐらいの人が着用しているかの調査、C はヘルメット売り場の品ぞろえを紹介しています。B はヘルメット購入にかかる費用の問題について書かれています。

3 記事Aを読んだ小学生2人は次のような疑問を持ちました。関連記事B～Dのどれを読めば、疑問は解消しますか。一つずつ選び、記号を書きましょう。

太郎君：ぼくは必ずかぶっているけど、ほかの人はどうなのかな。（ D ）
花子さん：おしゃれなヘルメットがいいけど、そんなのあるのかな。（ C ）

©2013 そにしけんじ／読売新聞社

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

わかるかな？

自転車のルール ○×クイズ

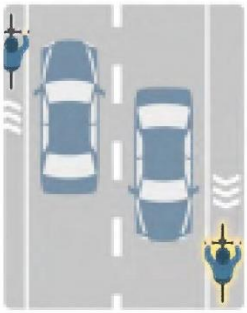
問１　歩行者がいなければ車道の信号が赤でも通行できる。

自転車は法律では「軽車両」に分類され、車の仲間です。車と同じように信号を守らないといけません。

問２　道路上の標識は自動車用なので自転車は一時停止しなくていい。

問１と同じで、自転車も一時停止や徐行といった標識を守らなくてはいけません。

問３　空いていたので車道の右側を通行する。



自転車は原則として、車道の左側の端っこを通行しなければなりません。右側通行は危険です。

問４　子どもなら歩道をスピードを落として運転してもよい。

13歳未満の児童は歩道の通行が認められています。ただし、歩行者とぶつからないよう、すぐに止まれるゆっくりとした速度で運転しましょう。

自転車ルール 違反してない？

スピードが出る自転車は、便利な移動手段です。でも最近、交通ルールを無視して事故を起こすケースが目立ち、全国の警察が取り締まりを強化しています。

（２０２２年１０月２７日

読売 KODOMO 新聞より）

自分が怪我をしないことだけでなく、

人に怪我をさせないことも大切ですね。

©2013 そにしけんじ／読売新聞社

サイン

年　　組（　　番）名前　　記入日　　月　　日

エスカレーター

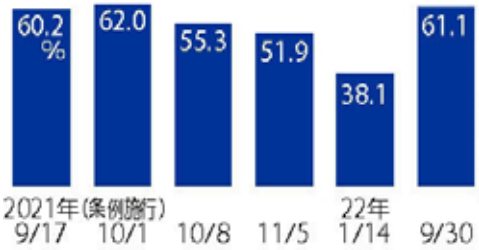
「止まらぬ」客 啓発道半ば

エスカレーターでの転倒事故を防ぐため、立ち止まって利用するよう呼びかける取り組みが全国で進んでいる。埼玉県は2021年10月、全国で初めて条例をつくって注目されたが、定着は道半ばの状態だ。

今年1月、さいたま市のJR大宮駅のエスカレーターでは、利用者が左側に1列に並んで立ち、空いた右側を歩いて追い越す人の姿がみられた。専門学校に通う男子学生は「なるべく立ち止まるようにしているが、急いでいるとつい歩いてしまう」と話した。

埼玉県が条例を施行して1年以上がたつ。だが、ア との調査結果があり、いかに定着させるかが課題だ。

■大宮駅のエスカレーターを歩いていた人の割合



調査を行った筑波大の徳田克己教授（バリアフリー論）は「片側空けが習慣になってしまっており、行動の修正は簡単ではない。違反しても罰則がないこともあり、慣れてくると効果が薄れていった」と話す。

エスカレーターで立ち止まる呼びかけは、10年度以降に全国の鉄道会社などが取り組んできたが、事故は後を絶たない。日本エレベーター協会の調査によると、全国のエスカレーター事故は13～14年が1475件、18～19年も1550件と横ばいで、うち6割を転倒事故が占める。

そもそもエスカレーターは歩くための構造になっていない。法律上は「昇降機」に分類され、ステップの幅は階段より狭い1・1メートル以下と規定されている。左右の人が確実に手すりをつかめるようにするためだ。1段の高さも大半が約20センチと高い。協会は「バランスを崩して転倒しやすく、他の利用者を巻き込んで大きな事故になる恐れがある」と注意を呼びかける。

視覚障害のある兵庫県明石市の男性は、エスカレーター上を駆け上がる人の荷物が顔に当たったり、白杖を蹴飛ばされたりした経験があり、「転落する恐怖と不安をいつも抱えていた」と語る。

埼玉県は昨年10月、啓発チラシの標語を「エスカレーターでは立ち止まろう」から「左右両側に立ち止まろう」に変更した。常態化している イ を改めてもらい、思わず歩いてしまう人が歩けないようにするためだ。最近は急ぐ人が階段を選ぶなど多少の行動の変化が見られるようになってきているという。

（2023年1月18日 読売新聞夕刊より）

1 記事の ア に当てはまる内容を次の中から一つ選び、番号を書きましょう。

① この1年の間に、歩く人の割合はほとんど変化が見られない
② 60%の人が条例を知らないため、歩く人の割合も減らない
③ 一時は減少した歩く人の割合が、今では元に戻ってしまった
④ 朝は急いでいる人が多いため、夕方より歩く人の割合が高い

2 A～Cの内容は、どのようなことを示すために紹介されていますか。
［　　］の中から、それぞれ最も適切なものを選んで番号を書きましょう。

A：日本エレベーター協会の調査（　　）
B：エスカレーターの構造（　　）
C：視覚障害のある人の話（　　）

① 片側を歩く行為が、他の利用者を危険にさらしている事例を示すため
② 歩いて利用する階段と異なり、バランスを崩しやすい根拠を示すため
③ 事故が後を絶たないにもかかわらず、啓発が不十分な要因を示すため
④ 呼びかけが始まってからも、大きな効果が出ていない状況を示すため
⑤ 埼玉県だけでなく、全国で条例をつくるべきだという意見を示すため

3 イ に当てはまる言葉を4字で抜き出しましょう。

©読売新聞社 2023年　無断複製・転載を禁じます

★★ よむ YOMU ワークシート no.6 エスカレーター「止まらぬ」客 ＜解答編＞

エスカレーター

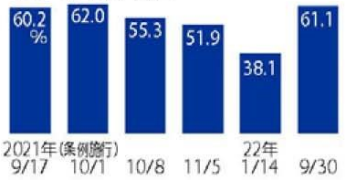
「止まらぬ」客 啓発道半ば

エスカレーターでの転倒事故を防ぐため、立ち止まって利用するよう呼びかける取り組みが全国で進んでいる。埼玉県は2021年10月、全国で初めて条例をつくって注目されたが、定着は道半ばの状態だ。

今年1月、さいたま市のJR大宮駅のエスカレーターでは、利用者が左側に1列に並んで立ち、空いた右側を歩いて追い越す人の姿がみられた。専門学校に通う男子学生は「なるべく立ち止まるようにしているが、急いでいるとつい歩いてしまう」と話した。

埼玉県が条例を施行して1年以上がたつ。だが、ア との調査結果があり、いかに定着させるかが課題だ。

■大宮駅のエスカレーターを歩いていた人の割合



調査を行った筑波大の徳田克己教授（バリアフリー論）は「片側空けが習慣になってしまっており、行動の修正は簡単ではない。違反しても罰則がないこともあり、慣れてくると効果が薄れていった」と話す。

エスカレーターで立ち止まる呼びかけは、10年度以降に全国の鉄道会社などが取り組んできたが、事故は後を絶たない。日本エレベーター協会の調査によると、全国のエスカレーター事故は13～14年が1475件、18～19年も1550件と横ばいで、うち6割を転倒事故が占める。

そもそもエスカレーターは歩くための構造になっていない。法律上は「昇降機」に分類され、ステップの幅は階段より狭い1・1メートル以下と規定されている。左右の人が確実に手すりをつかめるようにするためだ。1段の高さも大半が約20センチと高い。協会は「バランスを崩して転倒しやすく、他の利用者を巻き込んで大きな事故になる恐れがある」と注意を呼びかける。

視覚障害のある兵庫県明石市の男性は、エスカレーター上を駆け上がる人の荷物が顔に当たったり、白杖を蹴飛ばされたりした経験があり、「転落する恐怖と不安をいつも抱えていた」と語る。

埼玉県は昨年10月、啓発チラシの標語を「エスカレーターでは立ち止まろう」から「左右両側に立ち止まろう」に変更した。常態化している イ を改めてもらい、思わず歩いてしまう人が歩けないようにするためだ。最近は急ぐ人が階段を選ぶなど多少の行動の変化が見られるようになってきているという。

「調査結果」を示している左上のグラフから、1年間の変化を読み取ります。調査をした教授が「慣れてくると効果が薄れた」と分析しているのもヒントです。

1 記事の ア に当てはまる内容を次の中から一つ選び、番号を書きましょう。

① この1年の間に、歩く人の割合はほとんど変化が見られない
② 60%の人が条例を知らないため、歩く人の割合も減らない
③ 一時は減少した歩く人の割合が、今では元に戻ってしまった
④ 朝は急いでいる人が多いため、夕方より歩く人の割合が高い

③

2 A～Cの内容は、どのようなことを示すために紹介されていますか。
［　　］の中から、それぞれ最も適切なものを選んで番号を書きましょう。

A：日本エレベーター協会の調査（ ④ ）
B：エスカレーターの構造（ ② ）
C：視覚障害のある人の話（ ① ）

① 片側を歩く行為が、他の利用者を危険にさらしている事例を示すため
② 歩いて利用する階段と異なり、バランスを崩しやすい根拠を示すため
③ 事故が後を絶たないにもかかわらず、啓発が不十分な要因を示すため
④ 呼びかけが始まってからも、大きな効果が出ていない状況を示すため
⑤ 埼玉県だけでなく、全国で条例をつくるべきだという意見を示すため

Aは、事故件数が「横ばい」、つまり変化が見られない状況を示しています。Bを紹介した段落では、「歩くための構造になっていない」ことを説明しています。Cは、特にどのような人が危険を感じているか、の具体例です。

「常態化」とは、本来は好ましくないことが習慣になってしまった状態を指します。「左右両側に立ち止まる」ことで、その習慣を変えようとしているのですね。

3 イ に当てはまる言葉を4字で抜き出しましょう。

片側空け

©2013 そにしけんじ／読売新聞社

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

効率より優しさの時代に

片側空け ロンドンから

＜片側空け＞は、どこで始まったのか。

「イギリスです」。エスカレーター文化に詳しい江戸川大学の斗鬼正一・名誉教授（文化人類学）＝写真＝は言う。第２次世界大戦終盤の1944年、ロンドンの地下鉄で＜左側空け＞が呼びかけられた。

日本では高度経済成長期の1967年頃、阪急電鉄・梅田（いまの大阪梅田）駅で「お歩きになる方のために左側をお空けください」とアナウンスされるようになった。

さらに、大都市を中心にバブル景気に浮かれていた1989年頃、東京でも＜右側空け＞が始まったようだ。

いまでは、札幌、仙台、首都圏４都県、静岡、名古屋、岡山、広島、博多などで＜右側空け＞が広がり、＜左側空け＞は大阪、神戸など「少数派」となっているようだ。

「速い＝良い」を問う

2000年代に入ってから今に至るまで、鉄道各社や自治体などが「歩かないで」「手すりにつかまって」とキャンペーンを本格化させている。だが、＜片側空け＞は続いてきた。

押しのけるようにエスカレーターを上り下りする人を見たり、時には＜空け＞忘れて舌打ちや「ジャマだ」という暴言を受けたりしたことがある人も多いだろう。だが、今後は「そういう人こそ〝マナー〟違反」という目で見られる風潮が、もっと強まるかもしれない。

（2021年10月29日　読売中高生新聞より）

誰もが安全にエスカレーターを利用するために、

私たち一人ひとりの「マナー」が問われています。

©2013 そにしけんじ／読売新聞社